

2024/5/10

大阪大学・日本財団 感染症センター ラボスペース公募

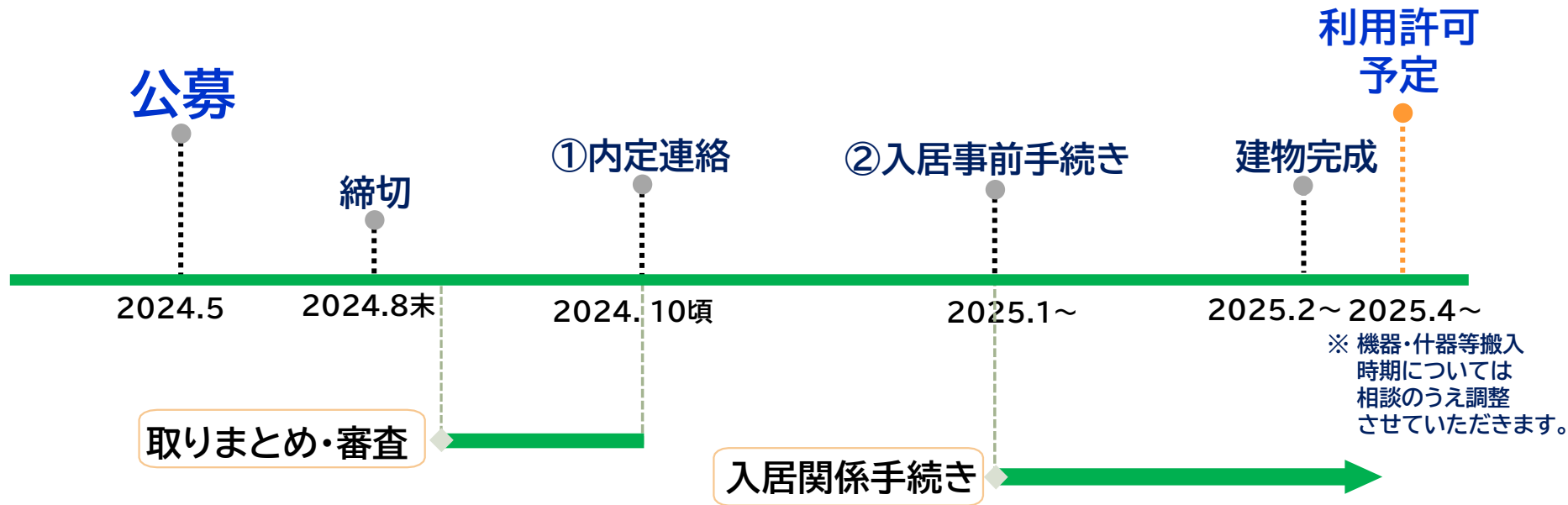


基本デザイン・デザイン監修：安藤忠雄建築研究所
基本計画：大阪大学、明豊ファシリティワークス株式会社
設計・施工：大成建設・日建設計特定建設工事共同企業体（デザインビルド）

利用条件概要

入居条件概要		
完成予定時期	2025年2月	2025年4月以降利用許可
募集部屋数	39室	
施設利用料	4,000円/m ² ・月	
入居期間	原則として2年以上3年以内とする。	ただし、管理運営責任者が特に必要と認めた場合は、利用期間を延長することができる。
光熱水料	入居者実費負担	
入居時改修費用	入居者実費負担	
建設場所	別紙建物位置参照	
ラボ図面及び仕様	別紙ラボ図面参照	
退去条件	自己の負担において速やかに利用場所を原状に回復	

スケジュール

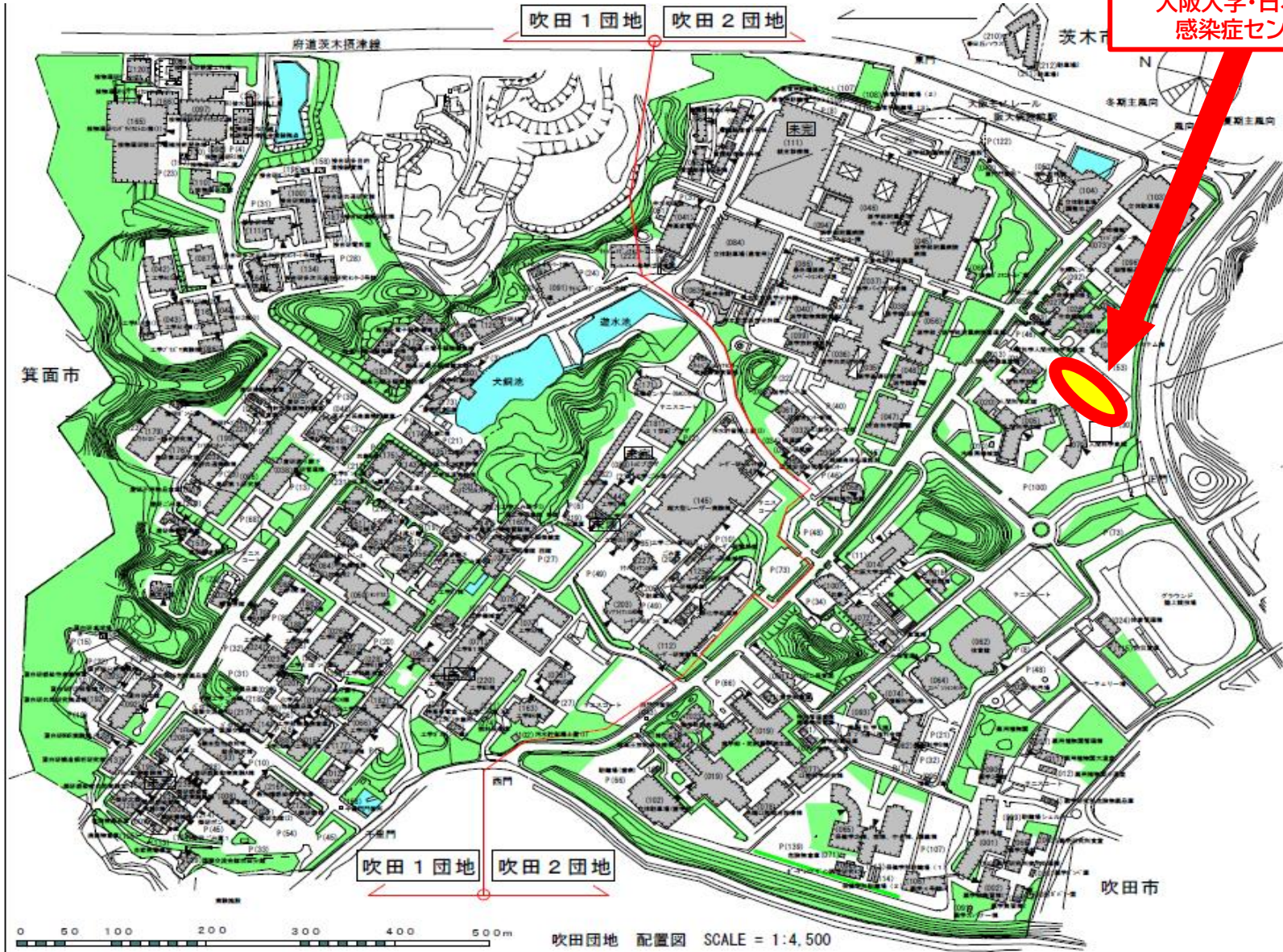


- ① 2024年10月頃までに利用の可否について連絡をします(内定連絡)。
- ② 利用許可内定者には、2025年1月頃に利用手続き書類の提出について連絡します。

建物位置

新棟建設場所

大阪大学・日本財団
感染症センター

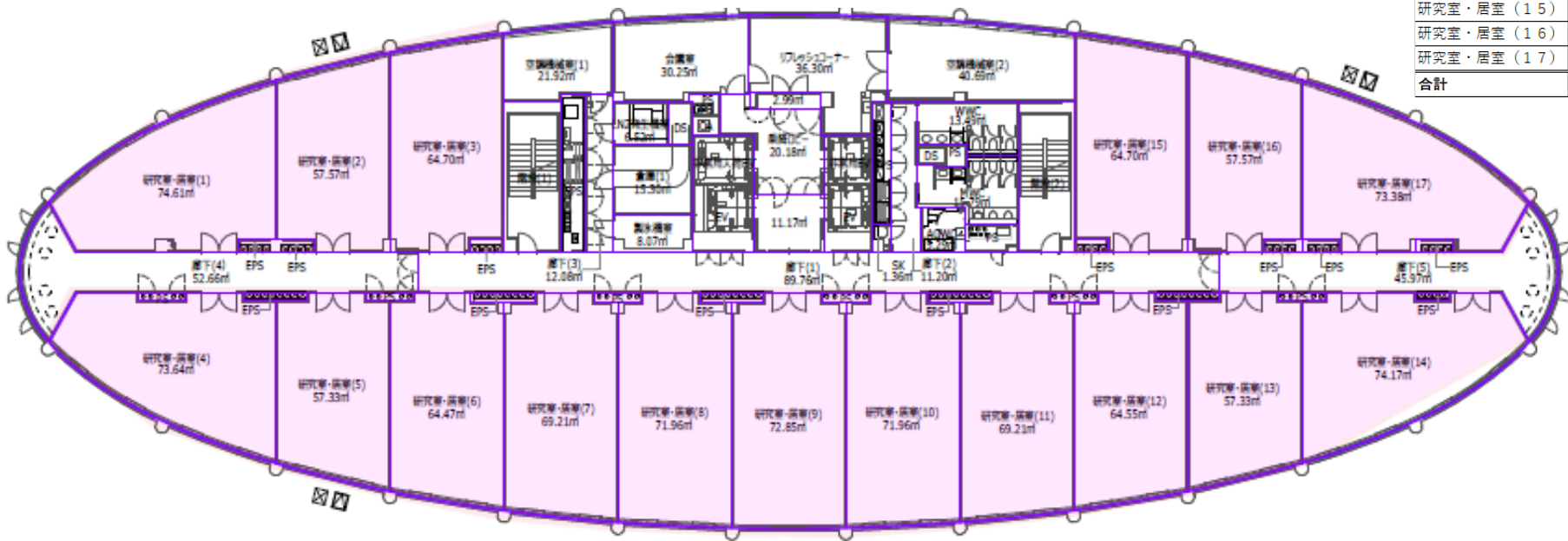


吹田団地 配置図 SCALE = 1:4,500

ラボスペース平面図

5階 (17室)

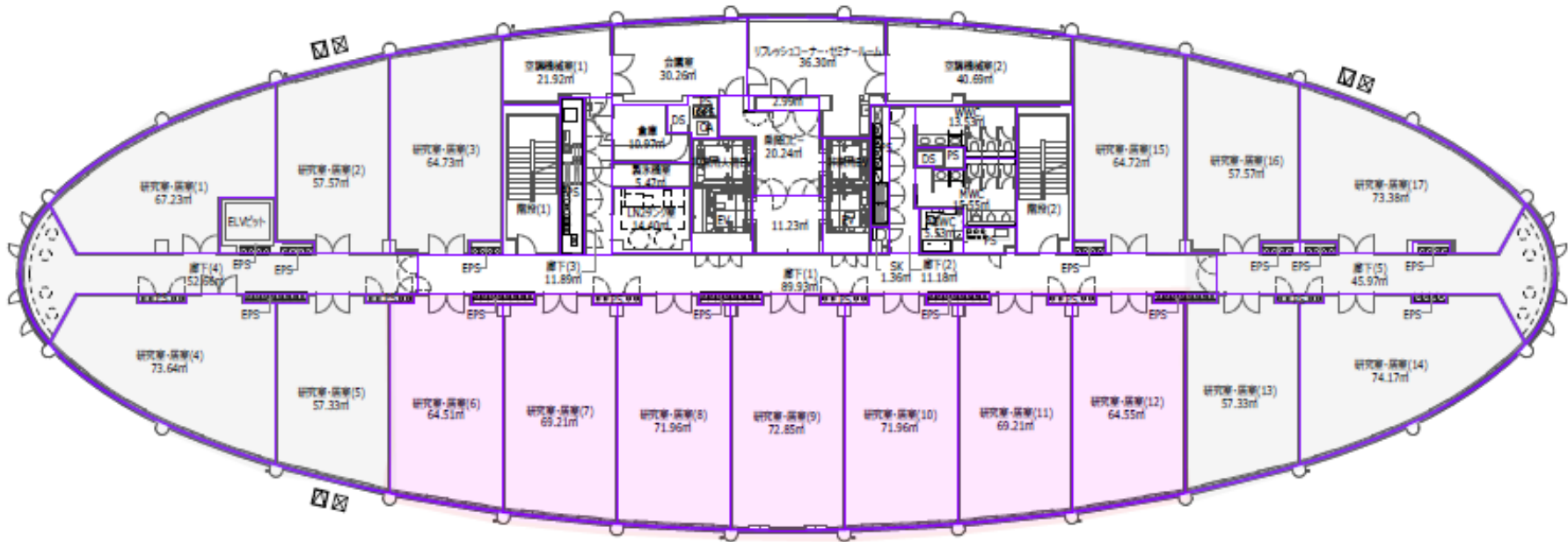
5F	㎡
研究室・居室 (1)	74
研究室・居室 (2)	57
研究室・居室 (3)	64
研究室・居室 (4)	73
研究室・居室 (5)	57
研究室・居室 (6)	64
研究室・居室 (7)	69
研究室・居室 (8)	71
研究室・居室 (9)	72
研究室・居室 (10)	71
研究室・居室 (11)	69
研究室・居室 (12)	64
研究室・居室 (13)	57
研究室・居室 (14)	74
研究室・居室 (15)	64
研究室・居室 (16)	57
研究室・居室 (17)	73
合計	1,130



ラボスペース平面図

6階 (7室)

6F	m ²
研究室・居室 (6)	64
研究室・居室 (7)	69
研究室・居室 (8)	71
研究室・居室 (9)	72
研究室・居室 (10)	71
研究室・居室 (11)	69
研究室・居室 (12)	64
合計	480



ラボスペース仕様(9Fを除く)

分類	項目	感染症研究教育棟 (実験ラボ)	
建築	床面積	57.2~74.6m ²	
	天井高	2.8m	
	階高	3.9m	
	耐床荷重	500kg/m ²	
	床仕上げ	ビニル床シート (耐薬品仕様)	
	壁仕上げ	石膏ボード EP塗装	
	天井仕上げ	化粧石膏ボード	
	扉大きさ	W1.8m × H2.1m	
電気設備	単相電源 200V/100V	想定電気容量	7kVA
		換気・照明容量分	0.7kVA程度
		分電盤主幹ブレーカー 及び予備ブレーカー	主幹ブレーカー : 75A 二次側予備ブレーカー : 6回路
	壁埋込コンセント (箇所)	単相100V	7箇所 (2口)
	天井コンセント (箇所)	単相100V	なし
	三相電源 200V	想定電気容量	3.2~3.8kVA
		空調容量分	3.2~3.8kVA
		分電盤主幹ブレーカー 及び予備ブレーカー	主幹ブレーカー : 30A 二次側予備ブレーカー : なし 二次側予備スペース : 1~3回路
	照明	タイプ	LED照明
		台数	室形状により異なる (15~21台)
		照度	600lx
	通信設備	電話回線数	電話コンセント 1箇所 (1口)
高速通信回線数		情報コンセント 1箇所 (2口)	
テレビ共聴設備		無	

分類	項目	感染症研究教育棟 (実験ラボ)
空調設備	形式	電気式 (天井カセット形)
	台数	室内機: 天井カセット (4方向) 型 2台、 室外機: 1台 (バルコニーに設置)
	冷房能力	12.5~14.0kW (専有面積による)
	暖房能力	14.0~16.0kW (専有面積による)
	換気種別	第1種換気 (給気・排気)
機械設備	換気機器	外調機 (給気) + 排気ファン (実験室排気共用ファン)
	将来ダクトスリーブ	局所排気が必要となる設備 (ドラフトチャンバー等) を設置される場合: ・天井内共用排気ダクトに将来用分岐1か所。
給水設備	給湯設備	なし
	排水設備	リザーブドレン50A (2カ所)
都市ガス設備		天井内 ガス管32Aをバルブ止め

※現時点の仕様で多少の変更の可能性があります。

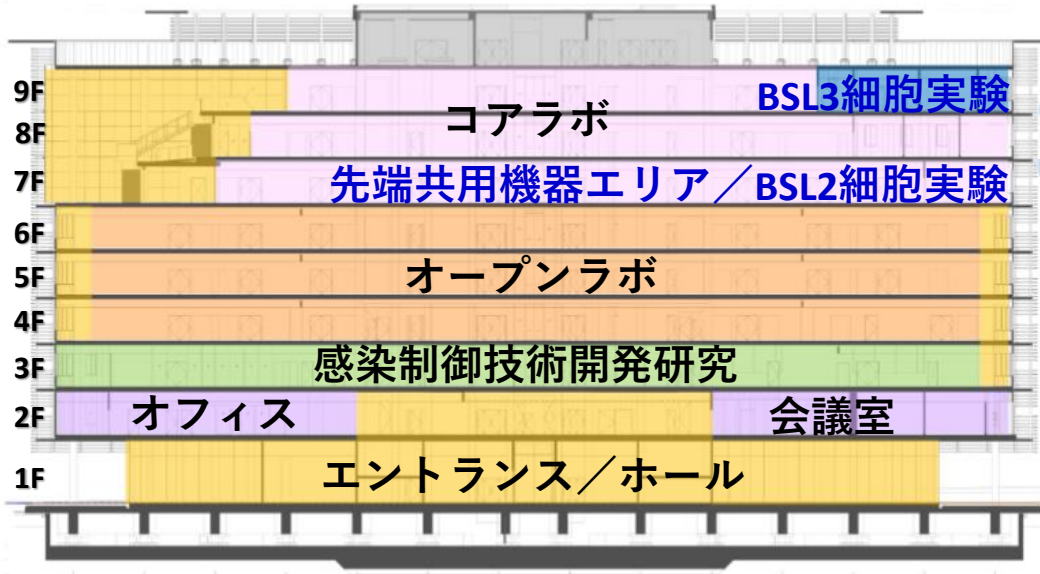
※搬入EVの大きさは以下の通りです。
開口1800mm × 奥行2000mm × 高さ2300mm

先端共用機器・共用実験室

大阪大学・日本財団
感染症センター



- ◆ コアラボ研究者・オープンラボ研究者の双方が利用しやすい7Fに、1フロアを共用実験室エリアとして先端機器を整備
- ◆ 研究室に近接するエリアにてBSL3細胞実験が実施可能

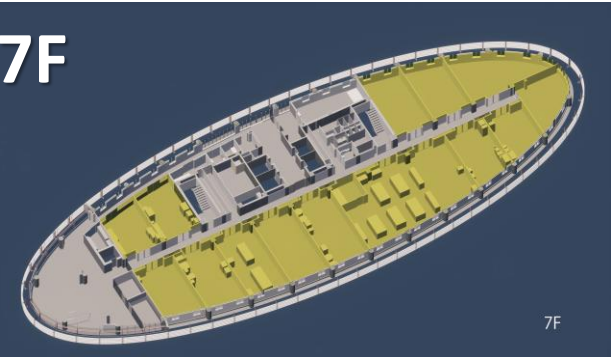


9F



9F

7F



7F

- ◆ 共用実験室及び機器の利用については別途利用料が発生します。

エリア別
主要機器等配置



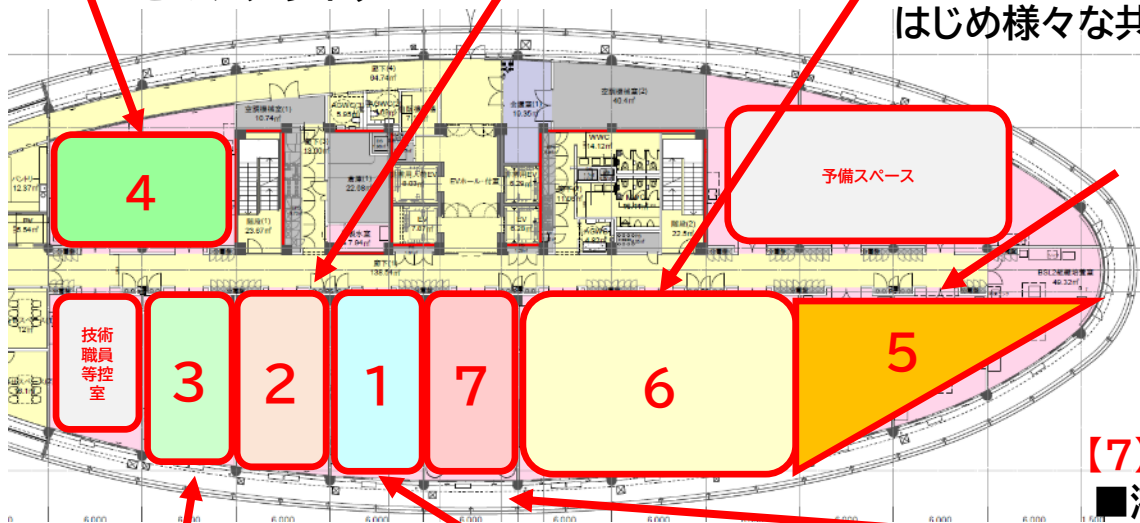
7F

【4】細胞分離・解析エリア 【2】組織検体作成エリア

- 最新セルソーター
- セルアナライザー

【6】顕微鏡等エリア

- 光学顕微鏡・レーザー顕微鏡をはじめ様々な共用機器



【5】BSL2細胞実験
エリア

【7】検体保管エリア

- 液体窒素発生装置
- 液体窒素保管容器

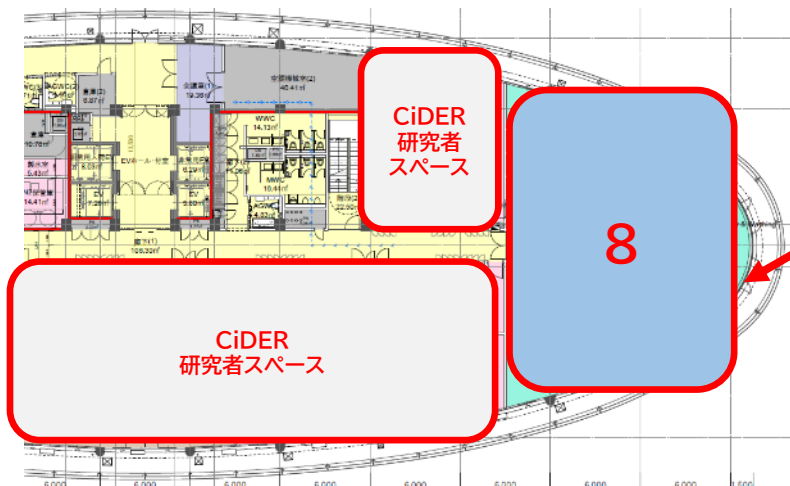
【3】マスサイトメトリー
エリア

【1】イメージングマススペクトロメトリーエリア

- 最新イメージングマススペクトロメトリー
- 西日本初、国立大学初の導入(予定)



9F



【8】BSL3細胞実験エリア